

2022年2月8日

各位

会社名 ブティックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 新村 祐三
(コード番号 9272 マザーズ)
問合せ先 常務取締役管理本部管掌 速水 健史
(TEL 03-6303-9431)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

ブティックス株式会社（東京都港区、代表取締役社長 新村祐三 以下「当社」といいます）は、2021年11月9日「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2022年3月期通期業績予想を修正することとしたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正理由

当社は、前回の業績予想策定時に、商談型展示会事業においては、第2四半期累計期間の大半が緊急事態宣言下となり、出展小間契約の獲得に遅れが生じていたことから、業績予想を下方修正しておりました。しかしながら、緊急事態宣言の解除後は営業活動が正常化し、出展小間契約の獲得が想定以上に順調に推移していることから、売上高が前回業績予想を上回る見込みです。

また、M & A 仲介事業においては、前事業年度からの教育体制の整備・仕組化が浸透し、中途採用のコンサルタントが想定より早期に戦力化したことから、業績予想を上方修正しておりました。しかしながら、前回業績予想には見込んでいなかった案件が順調に成約していることに加え、大型案件の成約が増加していることから、売上高が前回業績予想を更に上回る見込みです。

以上により、当社の2022年3月期通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回業績予想を大幅に上回り、いずれも過去最高を計上する見込みです。

なお、社内での損益管理方法の変更に伴い全社費用の配賦方法を変更しており、2021年3月期のセグメント情報は、2022年3月期の報告セグメントに基づき作成しております。

2. 業績予想

2022年3月期通期業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年11月9日)	1,716	201	201	128	25.61
今回発表予想 (B)	1,960	452	452	289	57.52
増減額 (B-A)	244	250	250	160	
増減率 (%)	14.3	124.6	124.6	124.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	1,277	281	292	198	39.79

(注) 当社は、2021年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり当期純利益」については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、当該株式分割後の発行株式数（自己株式を除く）により算出しております。

3. セグメントごとの見通し

セグメントごとの見通しは以下のとおりです。

(1) 商談型展示会事業

商談型展示会事業においては、今後も「CareTEX」及び「CareTEX One」の開催エリアの拡大及び出展規模の拡大を図っていく計画であります。当事業年度においては、5月に新たに北海道で開催の札幌展をはじめ、全国7エリアでの開催を予定しております。

当社は、前回の業績予想策定時において、第2四半期累計期間の大半が緊急事態宣言下となり、出展を自粛する企業が発生したことに加え、新規営業が大幅に制限されたことにより、出展小間契約の獲得が遅れが生じていたことから、業績予想を下方修正しておりました。しかしながら、緊急事態宣言の解除後は営業活動が正常化し、出展小間契約の獲得が想定以上に順調に推移していることから、前回の業績予想策定時と比較して、増収増益となる見込みです。

以上により、2022年3月期通期の商談型展示会事業の業績は、出展小間契約は1,380小間（前事業年度比16.5%増、前回発表予想比9.4%増）、売上高722百万円（前事業年度比10.1%増、前回発表予想比7.8%増）、セグメント利益170百万円（前事業年度比1.1%減、前回発表予想比80.7%増）を見込んでおります。

なお、当社は業績予想を策定する上で、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に快方へと向かい、万一、緊急事態宣言が発出された場合でも、展示会の開催ができることを前提としております。このため、前事業年度以上に新型コロナウイルス感染症の状況が悪化し、政府や自治体等の要請により、展示会の開催ができなくなった場合、業績に影響を与える可能性があります。

(2) ハイブリッド展示会事業

ハイブリッド展示会事業は、オンライン展とリアル展をシームレスに融合させ、双方の強みを活かした、新発想のハイブリッド展示会である「DXPO」の開催・運営を行います。オンライン展の開設期間中（365日24時間）に並行してリアル展を年2回開催し、リアル展の会期前1ヵ月及び会期後2ヵ月は、オンライン展でも集中的にマッチングすることで、商談の量と質を高めつつ、かつ年間を通じて継続的なマッチングの機会を提供する新サービスです。9月より営業活動を本格化し、出展小間契約の獲得は順調に進捗しております。

当事業年度においては、ハイブリッド展示会は準備期間となるため、売上高の計上はございませんが、出展社募集活動をはじめとする先行投資として、人件費・採用費・販売促進費等を計上する予定です。

以上により、2022年3月期通期のハイブリッド展示会事業の業績は、セグメント損失74百万円（前回発表予想は68百万円の損失）を見込んでおります。

（3）M & A 仲介事業

M & A 仲介事業においては、自社開発した「M & A 工程管理システム」による厳格な工程管理を行うことで、コンサルタント個人の経験や能力に依存しがちなM & Aの工程を「定型化」「可視化」し、コンサルタントを大量に採用した場合でも、案件進捗の確実性とスピードを担保することが可能となったことから、引き続き、コンサルタントを大幅に増員（2021年3月期末のコンサルタント数18名に対し、当事業年度は31名に増員の予定）し、案件の成約数増加に注力しております。

当社は、前回の業績予想策定時において、前事業年度からの教育体制の整備・仕組化が浸透し、中途採用のコンサルタントが想定より早期に戦力化したことから、業績予想を上方修正しておりました。しかしながら、前回業績予想には見込んでいなかった案件が順調に成約していることに加え、大型案件の成約が増加していることから、前回の業績予想と比較して、更に大幅な増収増益を達成する見込みです。

以上により、2022年3月期通期のM & A 仲介事業の業績は、成約組数は125組（前事業年度比47.1%増、前回発表予想比14.7%増）、売上高1,238百万円（前事業年度比104.7%増、前回発表予想比18.4%増）、セグメント利益718百万円（前事業年度比103.7%増、前回発表予想比32.2%増）を見込んでおります。

なお、当社は業績予想を策定する上で、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に快方へと向かい、万一、緊急事態宣言が発出された場合でも、訪問・面談等ができることを前提としております。このため、前事業年度以上に新型コロナウイルス感染症の状況が悪化し、政府や自治体等の要請により、訪問・面談等ができなくなった場合、業績に影響を与える可能性があります。

以上の結果、当社の2022年3月期通期の業績の見通しは、売上高1,960百万円（前事業年度比53.5%増、前回発表予想比14.3%増）、営業利益は452百万円（前事業年度比60.7%増、前回発表予想比124.6%増）、調整後営業利益は510百万円（前事業年度比75.6%増、前回発表予想比96.6%増）、経常利益452百万円（前事業年度比54.9%増、前回発表予想比124.6%増）、当期純利益289百万円（前事業年度比45.8%増、前回発表予想比124.6%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想を達成した場合には、当事業年度において、2021年2月1日を割当日とする第15回新株予約権の行使条件（調整後営業利益500百万円）を満たすこととなります。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、実際の業績は上記の予想とは異なる場合があります。

《本リリースに関するお問合せ》

ブティックス株式会社 管理本部 IR 担当

TEL : 03-6303-9431（平日9時～18時） Email : ir@btix.jp

以上